

日 刊	JP 新東京	No. 61	2008年12月1日(月)
		日本郵政グループ労働組合 新東京支部広報部	
		TEL 03-5690-2847 内線 4353	

年末年始の営業体制確立・業務運行確保を 中心とした要求書の回答！

1. 営業関係

年賀状の在庫管理は、副アドバイザー・副スーパーバイザーが地域・地区の年賀状在庫管理を行い、地域を越えての資産移動については支社が責任を持って調整する、臨時出張所に関しては渉外社員については行わないことを確認しました。

地本は年賀状発売日に品切れが発生したことについて、予約枚数の把握を支社で管理し全体的なバランスを考えた配分が必要であると主張しました。

支社は、商品のマーケティングの必要性・予約枚数の管理・局会社としての予約方法等、今回の反省を次年度に生かしていくと回答しました。

また、お手軽年賀状の準備不足についてはフロントラインの混乱を招くものであり二度とあってはならないと強く申し入れをしました。

支社は、発送業者との打ち合わせ不足により、このような結果になり大変申し訳なく反省をしていると陳謝するとともに、今後支社で扱う商品の到着については1週間程度の余裕をもつこと、システムについては事前のテストを行うこと、を地本・支社間で確認しました。

2. 業務運行関係

私書箱設置局の業務運行計画については回答のとおりですが、交付日については私書箱設置局と支店との申し合わせ（早く交付されても処理スペース・保管場所等がない場合）により決定しているところである。また、民分化前と同等の区分がされていない事態が発生し改善されない場合は、事業会社との対応も含め個別に対応していくことを確認しました。

渉外要員配置局の窓口開設時間については、JP労組交渉情報 郵便局第26号（2008.11.15）でお知らせしたとおりですが、次年度について、利用実績に基づき効率的・効果的な年末年始の窓口開設時間となるよう共通認識を図ると共に、羽田郵便局について、JP EXとのかねあいも含め窓口開設時間を考えていく必要があると提言を行いました。

支社は、まだ明らかになっていない事ではあるがJP EXも視野に入れ検討をしていくとの考え方を示しました。


最近気になる人

最近気になる人がいまして、お笑い芸人なんですけど、ぴん芸人の劇団ひとりが私は大好きで面白い。本当彼はマルチな活動をしていて俳優をやっても上手いし確か2年前位には本を書いてベストセラー入りを果たしたり、多方面で活躍しています。

特に某週刊誌のコラムが好きでこの前本屋さんにたまたまそのままとめたのが売ってたので買ってしまいました。読んでると共感が持てます。芸人の人ってネタ探しに必死で色んな分野を知ってないと面白いネタは作れないです。だから日々アンテナをはり巡らさないといけません。彼はその点凄いなと思ったのは、思いついた事を直ちに実践する行動力です。思い付きなんで殆どが失敗してますが.....。(笑)

その例として『無償の愛』というお題目では、ただの石ころに名前を付けてどれだけ愛せるとか、いきなり富士山に登ろうって思って何の準備もなく登ったりどれも結構おぼかなチャレンジで笑えます。本人はマジなんですけど。

その中で一番好きだったのは『炭水化物ダイエット』という題目でした。自分もお腹回りが気になる年頃になりまして人間ドックや健康診断でメタボ対策なんぞやるようになりました。ちまたではりんごダイエットバナナダイエット納豆ダイエットってのもありましたね~そう言えば....。何かを食べて痩せるってのもなんともお気楽なダイエットですなあ。本に載ってた炭水化物ダイエットは自分も少し知ってたんですがなんか眉唾ものですよ?日本人に米を食うなどは酷いダイエット法です!普通に生活してて炭水化物を減らすのは難しいです。米の代わりに肉とか食べて逆にカロリーオーバーすると思います。それで著者の劇団ひとり君は逆転の発想で『炭水化物ばかりダイエット』を実践してました、そのうち御飯のみじゃ流石に飽きて来て『炭水化物と醤油ばかりダイエット』になりそれも飽き『炭水化物と醤油とキムチばかりダイエット』になりそしてついに『炭水化物と醤油とキムチと餃子ばかりダイエット』になってこれはもう普通の食事ですこの時点で『普通の食事ダイエット』になって現実逃避してました。もうお判りですね!?彼は3日目にしてプラス2キロです(笑)私も経験があります。正月の餅をもらい過ぎて五日間連続で朝昼晩を食べ続けたら見事三キロ弱増えました。恐るべし炭水化物。まあ適度な運動そしてバランスのとれた食事そして腹八分目が一番ですなあ。こんな馬鹿げた経験をコラムにまとめた本に最近ハマってしまっています。

日 刊		No.62	2008年12月2日(火)
		日本郵政グループ労働組合 新東京支部広報部	
		TEL 03-5606-6784 内線 4353	

平成 20 年度年末始繁忙要員対策経費について

東京支社より、平成 20 年度年末始繁忙要員対策経費について説明がありました。

支社説明では、今年繁期の東京支社管内の使用目安額は賃金・超勤合計で、5,972 百万円、労働力合計で 4,140,409H とし、使用目安額の対前年実績比は 93,0%ととしています。

今年度の使用目安額は、昨年度使用した賃金・超勤額から民分化対応分を除くと、実質、対前年実績見込みで 100%を確保できている金額であるとしています。また、別表の使用目安額には総務課社員・短時間社員分が含まれており、契約社員 I 型の賃金は含まれていないと説明がありました。

1 人当たり超勤手当予算配算時間については、郵便課平均 38H、集配課平均 63H と支社説明があり、地本は、郵便・集配の最高・最低の該当支店について確認したところ、郵便課最高 50H（大崎・代々木・東京千歳・中野・杉並南・板橋・三鷹・調布・武蔵府中・国立・西東京・東村山・東久留米・清瀬・鶴川・昭島・多摩・武蔵村山・各支店）合計 18 支店、最低 13H（新東京支店）、集配課最高 96H（成城支店）、最低 22H（田園調布支店）と説明がありました。

地本は、各支店においてゆうパック繁忙対策・年賀対策で期間雇用社

員の募集を行っているところであるが、確保難支店への賃金目安額について支社の考えを確認し、また、ゆうパック配達受託者の増雇用が困難で、支店での期間雇用社員雇用が必要となった支店の賃金目安額については期間雇用社員の雇用増を考慮した金額としているのか確認した。

支社は、期間雇用社員確保難支店については賃金を上積みしたとし、ゆうパック繁忙対策での期間雇用社員分も含めた金額としていると回答した。

地本判断としては、今年度の賃金・超勤については、実質、対前年実績見込みで100%を確保できている金額となっていること、及び、期間雇用社員確保困難支店への賃金については賃金を上積みしたとしていることから了承しました。

さらに地本は、ゆうパック繁忙期配達受託者確保状況において、まだ不足している支店があるが、「平成20年度年末始繁忙要員対策経費」について各職場労使委員会窓口での説明の際は、①ゆうパック配達受託者・期間雇用社員確保状況、②確保状況に応じたゆうパック繁忙対策等についても労使の意思疎通を図ることを要請し、支社も了承しましたので支部・分会においても各支店へ求めるよう願います。

また、12月3日(水)において、ゆうパック以降配達状況が順調でない支店については、再度、12月4日(木)からのゆうパック繁忙対策について、労使で意思疎通を図るよう要請し支社も了承しましたので、12月4日からのゆうパック配達対策について労使の意思疎通が必要な場合は、支部・分会から支店へ求めるよう対応をお願いします。

日 刊	JP 新東京	No.号外	2008年12月2日(火)
		日本郵政グループ労働組合 新東京支部広報部	
		TEL 03-5606-6784	内線 4353

2008年度年末手当

正社員一人あたり10,000円を加算で妥結

一支給日12月24日(水)以降準備出来次第一

本部は、「2008年度年末手当に関する要求書(以下、「要求書」という。)」で求めていた「15,000円+ α 」分について、「+10,000円」を12月24日(水)支給とすることで、妥結しました。

本年度の年末手当については、08春季生活闘争時に平成20年度上期の経営状況を見極めた上で+ α を判断することを確認し、要求書提出以降継続課題として支給事務開始の期限ギリギリまで精力的な交渉を展開してきました。

しかしながら、経営側は「2.25月分のみを支給としたい。」との回答に開始していたことから、支給日のずれ込みを回避するため、11月12日(水)に「2.25月」分のみを12月10日(水)に支給することでひとまず整理しました。その後も継続的な交渉を展開し、11月28日(金)に中間決算が確定したことを受け、経営側に決算状況の説明を求めました。グループ全体で経常利益が4,225億円、当期純利益が2,224億円を計上しています。

本部としては、①営業収益については、今後の課題が残っているものの、個々に見れば回復基調となっている商品もあり、厳しい経済環境の中での組合員の努力に応えるべき、②今後の年末年始繁忙、全銀ネット接続及び支払い検証等を成功させるためには、より組合員のモチベーションを高める必要がある、等を主張し、「会社として組合員に強いメッセージを発するべき。」と回答の再考を強く求めました。

これに対し経営側は、①中間決算の状況は、各社様々な課題を抱えており、決して良い状況とは言いがたいが、社員一人ひとりの頑張りにより、商品によっては回復のきざしが出てきている、②年末年始繁忙をはじめ、今後も社員のインセンティブの向上が不可欠である、等、これまでの社員の努力に報いるとともに、今後の更なるチャレンジに期待したいとの思いから、「正社員一人あたり10,000円を加算したい。また、高齢再雇用社員、期間雇用社員及び短時間社員についても、正社員の加算割合に対して従前の割合で加算する

こととしたい。」との最終回答を示してきました。

本部としては、経営側が厳しい経営環境の中で、組合員の労苦と今後の期待に応えるために、最大限の決断をしたものと考えています。これまで求めてきた「15,000円+α」とは開きがあるものの、現状を踏まえれば、経営側として精一杯の有額回答を行ってきたと判断したことから、最終回答について了承することとしました。

支給日については、既に年末手当(12月10日支給)の支給事務処理が終了していることから、別途、12月24日(水)以降、準備出来次第、支給されることとなりますので、ご了承願います。

平成20年度年末手当加算措置 内訳

基準日：平成20年12月1日

支給日：平成20年12月24日以降、準備出来次第

正社員

- ・ 在職期間6月 10,000円
- ・ 在職期間3月以上6月未満 6,000円
- ・ 在職期間3月未満 3,000円

高齢再雇用社員

- ・ 在職期間6月 10,000円
- ・ 在職期間3月以上6月未満 6,000円
- ・ 在職期間3月未満 3,000円

※ 短時間勤務の場合は、上記金額の2分の1

期間雇用社員

(1)月給制契約社員 6,000円

(2)時給制契約社員(パートタイマー)

年末手当基準日(12月1日)前6か月間の正規の勤務時間数の総数を6で除した時間数に応じ、次に応じて定める額

- ・ Aランク 84時間超 4,000円
- ・ Aランク 84時間以内 2,000円
- ・ Bランク 84時間超 2,000円
- ・ Bランク 84時間以内 1,000円

※ 内訳は新東京支店に関係する社員分のみ抜粋しています。

日 刊
JP
新東京

NO 63

2008年
12月3日(水)

日本郵政グループ
労働組合
新東京支部
編集委員会

03-5690-2847
内線 4353

「正社員の登用を」 「通勤手当の改善を」訴える

地本主催 支部長書記長会議報告

ちよつと報告が遅れましたが十一月五日に地本主催の支部長・書記長会議がおこなわれました。そこでは次の提起がありました。

となるようなので一時的に解除して新しいスタートをする。政治連盟の結成について。

一、組織をとりまく当面の提起

総選挙近しとして選挙体制をつくつてきました。が麻生首相の迷走があり解散日が延長

二、組織拡大について

七月から十一月まで東京では三七三名が加入してもらいました。今後は月給制社員になった人に力点をおいて組合加入を勧めていきます。

三、第二回中央委員会の報告
(自宅に配送された報告特集号を参照してください)

四、交渉関係について

① J P E X について。
いろいろと不安があると思います。まだ確定になっていませんが一〇月三十一日時点の資料がありますので、組合室に来て参照して下さい。

② わが支部を代表して

下山支部長は、

「正社員の道がひらけたのは良いことだが、新東京で採用がゼロということにはならない

ように取り組みを。組合員のインセンティブが高まらない。

通勤手当の変更等はあまりにも常識はずれのひどい事案だ。本部・本社での交渉ごとは理解するが、地本としても積み重ねをやって欲しい」と発言し参照メモを渡してきました。

地本は「そのことは重々承知している」と応えました。

五、選挙について

地本としては、二十二区の「山花いくお」さんを中心に全力でとりくんでいきます。

よろしく願います。

11 勤務ゆうメイト

組合加入歓迎朝食会

二特分会は、この間たくさんの方のゆうメイトさんに組合加入をしてもらいました。そのご勤務や支部統合などで歓迎会ができていざでしたが、遅ればせながら11月6日A番(13名)、30日B番(7名)と2回にわたり、勤務にあわせて朝食会というかたちでおこなってきました。明けということもあって軽くなるのをうるおし、口先が軽くなり楽しい朝食会になりました。

また仕事に見られない一面ものぞかしていました。

まじめな話としては、「郵政事業が赤字の中、雇用が不安であること」を質問してくる人。「11勤務にも正社員化して欲しい」ということ。「結婚したが生活が大変である」こと、「生活が苦しいので、郵政以外でも明けの時間で仕事をしている」現状を訴える人。腰とか血圧などの症状を訴える人など、考えさせられることが多くありました。今後、いろいろな意見を集約して、分会の声としていきたいと思いました。

日
刊

JP 新東京

No. 6 4

2008年12月4日(木)

日本郵政グループ労働組合 新東京支部広報部

TEL 03-5690-2847 内線 4353

2009, JP 労組新東京支部、

新春ボウリング大会!

支部結成初めてのレク、ボウリング大会!

今回は、どこの分会が優勝するのか!

特殊か! 輸送か! はたまた企画か!

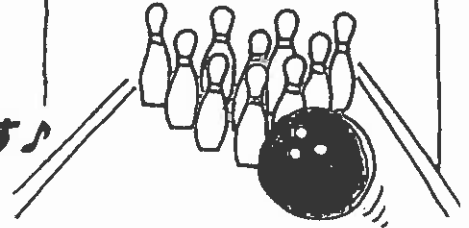
ゆラパック、普通もあなどれない!

今回の規模は 200 名!

豪華賞品多数!

…皆様のご参加をお待ちしております♪

ボウリング大会の
お知らせ



《日 時》 2009年1月25日(日)

11:30~受付

12時スタート

《場 所》 お台場「東京レジャーランド」

バレットタウン店

《参加費》 大人 1000円、

子供 500円(小学生以上)

《締め切り》2009年1月10日(土)

《その他》ボウリング後、軽食を食べながらの表彰式あり

～ 詳しくは支部・分会役員まで! ～

開誌休題

今週の日曜日、明けで後輩と東陽町に向かって歩いていたら、明治通りを機動隊が交通整理していた。

11月30日。その日は、江東区シーサイドマラソンの開催日だった。

後輩と吉野家の前でしばし観戦。

自分はマラソンを専らテレビでしか見たことがなく、あんなに早く走っているとは思わなかった。



また、けっこう年配の方が多く走っているなあ、と感心した。誰か知っている人がいないかと思いながら走る人の顔を目で追っていたら、気分が悪くなってきた。

そろそろ帰ろうかと思ったら、いきなり知ってる顔が現れた。江東区議の新島つねおさんが「よおっ」と走りながら自分達に声をかけてくれた。

秋晴れの中、とても元気に走っている新島さんの顔を見て、なぜかとても温かい気持ちになりました。

〜とうとう〜

「連合愛のカンパ」

連合の愛のカンパは、NPO・NGO 団体等への支援や自然災害等による被災者救済活動等に充てられます。

100円で、愛の手を!!!

締め切りは 12月15日まで

JP労組東京第1回 囲碁将棋大会

将棋の部 (A級)

五位 小佐野 裕 [3ゆう分会]

将棋の部 (C級)

準優勝 宮崎 喜一 [1特分会]

囲碁の部 (C級)

準優勝 鈴木 清紀 [2特分会]

11月24日、「JP労組東京第1回囲碁将棋大会」が新宿区の日本青年館ホテル「国際ホール」で開催された。最近の将棋ブームを反映して50名以上が参加し熱戦が繰り広げられました。

将棋の部 (A級) では小佐野裕さん [3ゆう分会] が五位、将棋の部 (C級) では宮崎喜一さん [1特分会] が準優勝となりました。囲碁の部 (C級) では鈴木清紀さん [2特分会] が準優勝となりました。

今大会は、来年の二月に開かれる全国囲碁将棋大会の出場権であるAクラス上位三名選抜の東京代表者予選大会でもありました。将棋の部 (A級) 参加の小佐野裕さんは、奮闘するもあと一步でした。来年度の大会もがんばってまいりましょう。

参加された皆さんお疲れ様でした。

支部物資斡旋は今日5日が締め切りです。

申し込もうと考えている組合員はいますぐお近くの組合役員まで!!

日 刊

JP
新
東
京

NO. 65

2008年
12月5日(金)

日本郵政グループ
労働組合
新東京支部
広報部

03-5690-2847
内線 4353

たまに読むならこんな本も：

『失敗の心理学』 日経ビジネス人文庫

現在、立教大学現代心理学部教授の芳賀繁氏は、JR総合技術研究所にも勤務したことがある事故防止のスペシャリストである。

人間が起こすミスについて心理学からアプローチ。

航空機事故や医療事故もさまざまなミスが原因であったのだが、機械や設備の大型化や自動化のおかげで重大な事故につながる。

なぜ、ミスが起きるのか、錯覚と勘違い、違反とリスク行動、ミスとのつきあい方、鉄道から学ぶ事故防止法など

がある。

うっかり

ミスは、その人の性格とも関係する

るが年齢や性別にも左右されやすいようだ。だが、「おっちよこちよいだから」「注意力が足りない」と事故の責任を性格のせいだけにするのは本質的な解決にならない。

産業現場でいう「不安全行動」がなぜ減らないのかも、「リスクをおかしても得られる目標の価値が大きいとき」などの人間の深層心理としてのリスク行動の一種としてあるようです。

「ルールを守ろう」という呼びかけをするだけではなくなぜ守らないかのその要因を

減らす方策も検討していかないと効果はない。

ミスをしない、させない：というのではなくミスは起きるものであり、「ミスは起きる」を前提に考え、いかに起きにくくするのか、「事故につながるらないようにするにはどうしたらいいのか」と考えていけないといけません。

「集中力不足」「もっとよく見ろ」などの精神主義ではだめなようです。

事故の多い新東京の職場を思いつつ興味深く読みました。

年金特別便四万五千通を二ヶ月放置：新聞に載ってしまいましたね。

【投稿】

「決断」する時

早いもので、今年を振り返る時期となっていました。様々な人達が自分の人生に「決断」の時を迎えたのが印象的でありました。

スポーツ界では福岡ソフトバンクの王監督が成績不振と健康上の理由から驚異的な野球人生50年にわたるそのユニフォーム人生にピリオドを打ちました。引退会見で語る姿は驚かされると同時に感動すらおぼえます。

女子マラソン高橋尚子も「決断」した。自分のチームを持ち多くのスタッフを抱えての引退には悲壮感すら感じました。

日本の政治の場ではどうでしょうか。安倍に引き続きポストを投げ出した福田前首相は、辞任の記者会見で記者の鋭い質問に対して「あなたとは違うんですよ」なる妄言を吐いて投げ出しました。麻生首相も選挙の顔として登場しましたが、米国が震源

地の経済危機の影響で衆院解散の期を逃しずると延期。世間知らずのお坊ちやまでは、政権浮揚の起爆剤にもならず、失言・妄言・誤読・迷走に支持率も31%と落ち込んでいる。政策力も「定額給付金」なるオソマツなもので失笑をかっている。まさに政権末期の状況であります。政権不要……。『決断』を失った結末でしょうか。

混迷する経済対策・雇用対策に決定打を打てない現政権にはとつとと退陣してもらって、早期の解散総選挙を求め、政権交代をぜひとも成し遂げましょう。「郵政選挙」の借りを返す時期はもうすぐです。

改めて組合員の皆様のご協力を要請します。

新東京支部 支部長 下山 薫

「登録型」を

野放し

株安・円高による急激な景気悪化で派遣など非正規労働者の解雇が始まるなか、政府は「30日以内の日雇い派遣の原則禁止」などを内容とする労働者派遣法の改定案を国会に提出した。派遣法改定案は、雇用・労働の規制緩和に対する批判に押される形で打ち出さざるをえなくなった一定の規制強化だが、30日を超える「登録型派遣」を野放しにするなど、ワーキングプアの温床である「派遣労働」の根幹にメスを入れるものにはなっていない。

とくに、労働契約が30日を超えれば、職場を転々とする日

雇い派遣を続けることができ、不安定雇用の解消はほど遠い。規制が緊急の課題だった「登録



型派遣」が温存されたことは、経営者側の意向そのままだ。また、派遣労働者の待遇改善についても、「派遣先の賃金は、同じ業務の正社員の賃金を考慮して決定」としただけで、こ

れも均等待遇を真っ向から否定する経営者側の意向そのままだ。登録型派遣の常用雇用化については、「努力義務」としただけで、一方で事前面接を解禁するなど、さらなる規制緩和を打ち出すなど、「改悪」すら盛り込まれている。

こうした政府の派遣法「改正」案では、「雇用の調整弁」として、景気が悪化すれば真っ先に切り捨てられる派遣労働者の厳しい現実、しかも「百年に一度」といわれる世界的な不況にさらされている非正規・不安定雇用の労働者を救済することはできない。

いまや、労働者の3人に1人が派遣など非正規労働者が占めている。年の瀬に仕事も住まいも奪われた労働者にどこへ行けと言うのだろう。

日
刊

JP 新東京

No. 6 8

2008年12月10日(水)

日本郵政グループ労働組合 新東京支部広報部

TEL 03-5606-6784 内線 4353

ゆうパック年末繁忙・情報

ゆうパックの年末繁忙は、11月17日(月)から始まっています。皆さんご存じですか？

昨年の中頃は、支店内で運送便の渋滞や、新棟での作業の遅れで、毎日のように応援をいただいたと記憶しています。

本年はここまで順調にきています。ここ数年思い返しても、これほど順調にきている年は記憶にありません。

ピーク第一段の先週は、12/1(月)の明けは、さすがに残を出し、2日の午前のみ応援が入りましたが、それ以降は明けの残は出ていません。

ピーク第二段の今週は、月曜日の夜間も乗り切り、明けの残は出ていません。

今年の年末で、昨年と大きく変わるのとは、新棟を使用しないという点です。始まるまでは不安でしたが、ここまでくると、このまま何とか行くのかと思ってしまいます。

各課においてもいろいろな改善点があり、それも順調にきている大きな要素と考えられます。

第一ゆうパックにおいては、代引ゆうパックの一般ゆうパック化です。処理数が格段に減りました。また新棟を利用していないので、シャトル輸送の差し立て作業等がなく

なり、かなり軽減されています。

第二ゆうパックは、作業方法が昨年とはかなり変更され、縮小されましたが、今のところは先に書いている通り、1日のみの応援ですんでいます。

その後も、職員・ゆうメイトの頑張りで結束を確保しています。

第三ゆうパックは、ここまで全て順調です。昨年は新棟で結束のできない日々に悩みましたが、嘘のようです。

チルドも、アウトソーシングを活用し、安定した業務となっています。

デパートの大口処理は、やはり前回とは作業方法の変更があり、ラベル剥がしを当支店では、行わないようになり、その代わりとして、中継入力を入れることとなりました。

始めは、ラベル剥がしの方が手間もかかり、中継入力の方が時間短縮が望めると考えていましたが、中継入力の方が格段に時間がかかり、前回の処理数から考えると、約半分くらいしか行かないようです。

半分というのは大袈裟かもしれませんが、処理に時間がかかるのは確かなようです。

全て順調にきているので、大きな問題ではありませんが、来期の課題になりそうです。

ここまでの支店や支社の努力が、功を奏してるとしかいいようがありません。

細かな問題はあると思いますが、何とかこのまま年末繁忙を乗り切りたいと思います。

「連合・愛のカンパ」 取り組んでいます

「連合・愛のカンパ」は、人道主義の立場から「自由、平等、公正で平和な世界の実現」に向け、発足以来一貫して「連合・愛のカンパ」活動に取り組み、その浄財を「社会貢献活動」へ生かしてきました。

昨年までの累計総額が約27億円強と大きな力になってきております。連合・愛のカンパは、社会貢献活動として取り組むもので、人権、子ども、保健・福祉、環境、自然災害などの課題に献身的に取り組んでいるNGO、NPO等の事業・プログラムに支援・助成、および自然災害などによる被災者に対する救援・支援を目的としています。

特に「地域NPO活動等」の助成事業は8年目を迎え、地域で日々頑張っている、草の根的な小規模組織・グループの事業への支援・助成が定着しつつあります。

今日、労働組合とNPOとの連携強化が求められており、この地域助成は、昨年までの7年間で延べ570の団体・組織へ支援してきたところです。

「連合・愛のカンパ」海外NGO事業フォローアップ視察としては2008年10月19日～26日にかけてベトナム・タイに情報労連・フード連合の「連合・愛のカン



パ」作業委員会委員から2名、アジア連帯委員会(CSA)から1名、ビルマ日本事務所から1名、国際労働財団(JILAF)から1名、連合本部・連帯活動局から2名の計7名が視察を実施しました。

ハノイ・VGCL (ベトナム労働総同盟) タイ・メーソットFTUB (ビルマ労働組合連盟) ビルマ人移民労働者の状況視察、メーラ難民キャンプ、メーソットのFTUB学校、NCUB (ビルマ連邦国民評議会)、マハチャイでのSUB (ビルマ海員組合) タイ国境・メーラ難民キャンプ内の様子、シャンティ国際ボランティア会(SVA)、VGCL (ベトナム労働総同盟)、ITUC-TC (ITUCタイ協議会)、FTUB (ビルマ労働組合連盟) の視察・訪問をしています。

日刊

JP
新
東
京

NO 70

2008年
12月17日 (金)

日本郵政グループ
労働組合
新東京支部
広報部

03-5606-6784
内線 4353

賃上げこそこそ最大の景気対策

インフルエンザが流行り、学級閉鎖する学校が増えているという。又、「新型インフルエンザ」が流行すると、日本でも数十万人が死亡すると言われている。

さて、アメリカがサブプライムローンを端緒に、株価暴落、金融危機という大病を患い、全世界に悪影響を及ぼしている。日本も、株価暴落、円高の進行によ輸出型産業の売り上げ減少など大変な打撃を受けている。まさに『アメリカ型インフルエンザ』が蔓延している。

マスコミ報道もトヨタを始めとする自動車産業の大幅な人員削減、ソニーの16,000人のリストラなどが連日取り上げられている。派遣労働者、非正規社員などが容赦なく路頭に投げ出され、住む場所も無くなるという。

ILOによると、世界的に見ても失業者が2,000万人増加し2億1,000万に達するという。『100年に一度の大恐慌』と言われる所以である。

この10年間、低賃金労働者が急増し、労働者相対の賃金は大きく下がった。その結果が、物が売れない「消費不況」である。そのため、日本企業は、国内市場ではなく、アメリカの消費市場に強く依存する構造に陥っていた。

このような経済情勢の下、09春闘がスタートした。連合は「安定した雇用システムや安心できる社会保障の仕組み」「内需主導型の経済システム」を構築し生活防衛の取り組みを行うと言っている。高木会長も「賃金を上げることが最大の経済対策だ」と訴えている。

賃金の底上げ、実質的な賃金水準の維持・向上へ向けて09春闘を取り組んでいくときであると思う。

※堅苦しいけど読んでね（投稿 風邪でダウンしたN）

日 刊	JP 新東京	No. 7 1	2008年12月15日(月)
		日本郵政グループ総合新東京支店広報部	
		TEL 03-5606-6784 内線 4353	

郵便事業会社は本部に対し、昨年まで各支社において対応を行ってきた「おせちゆうパック」を本社間で取扱サービスを明確化して実施するとの説明を行ってきました。

特に、大手百貨店に対する法人営業は、「おせちゆうパック」と「一般のゆうパックや郵便物」とのセット営業となっている現状から、百貨店の本社との間で取扱サービスを明確化し「おせちゆうパック」を取り扱うことによって百貨店におけるゆうパック等の維持・拡大を図るとしています。

差出人は大丸東京支店、差し出し予想個数は約3,200個、取扱地域は東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県となっています。

取扱については、配達時間帯希望や代金引換、チルド扱いは設けない、業務フローについてはイメージ図通り、12月30日から31日早朝にかけて新東京支店新棟へ業者から持ち込み、31日中に配達完了するとしています。

配達には各支店及び集配センターから行い、ゆうパック受託者が「おせちゆうパックのみ」単配することを原則とします。

なお、銀座支店にオペレーションセンターを設置することから配達状況の把握や百貨店対応はオペレーションセンターを通じて行うとしています。

本部は、今回の「おせちゆうパック」の取扱が今後の百貨店に対する営業にも大きく影響を及ぼすことから、配達受託者の確保や品質の確保に向けた対策に万全を期すよう本社に求めました。

本社は、事前(12月25日頃)に配達先支店ごとの配達個数等が判明するとしており、12月26日以降、要配物数が落ちることが想定されることから、配達委託料等、勘案して配達委託者の確保を行った上で、配達フロー及びチェックシートにて周知徹底を図るとしています。

本部は、配達受託者の確保状況等について、今後注視していくこととし、本案件について諒承したので周知します。

忘年会を盛大に開催

参加者 50 名を超す 二普分会

二普分会は十二月八日(日)午後六時半より、東京地下鉄総合運動場レストランにおいて、恒例となった分会忘年会を組合員の皆さんの協力を得て今年も開催することができました。

支部統合後初めてとなった今回は、正社員・パートナ―社員を合わせて五十名を超える参加者があり、盛大

な会となりました。

限元分会長からは、今年度の分会役員体制(裏面に紹介)やパートナー社員の組織拡大により十二月現在の分会組織人数が百四十一名組織となったことが紹介され、「これから本格的な年末始繁忙になっていくが、健康に留意してみんなで頑張っていこう」と挨拶がされました。

あなたもJP労組へ 笑顔と元気な職場のために

“礼儀正しくて仕事は真面目”と、みんなの信頼が厚いN島さんが誰にも言わずに突然「女装」を

参加者募集中! 支部ボウリング大会

- ◎ 一月二十五日(日) 正午スタート
- ◎ 東京レジャーランドボウル
(お台場・パレットタウン四階)

して登場してきたので、参加者全員が驚くとともに、大爆笑……。いろんなパフォーマンスがあり、終始N島さんが楽しい宴会にしてくれました。多くの参加者から、「おかしくてしょうがなかった。こんなに笑ったのは久しぶりだ」との感想が出されていました。組織の融和・融合は、大いにはかられたと思います。二次会のカラオケにも多くの方が参加して、自慢の歌声を披露していました。
当日中に帰宅できなかった猛者が多数出たようです。

日 刊	JP 新東京	No. 7 3	2008年12月17日(水)
		日本郵政グループ労働組合 新東京支部広報部	
		TEL 03-5606-6784 内線 4353	

外国来航空普通通常郵便物(中物)の事務移管について

平成 21 年 3 月 1 日（予定）に「特定記録郵便」の取扱いが開始することから、新東京支店に当該郵便物が集中することが想定されており、処理スペース確保のため、新東京支店で行っている外国来航空通常郵便物の区分事務を東京国際支店に移管するというものです。

具体的内容は、陸送地域 7 県・航空地域 26 県の計 33 県あて（別紙参照）の外国来航空普通通常郵便物（中物）の区分事務を、東京国際支店において、2 ケタ又は 2 ケタ集合区分及び府県区分を行いケース納入し、新東京支店あてに既定便で送付します。実施日は平成 21 年 1 月 20 日（火）です。

成田国際空港支店からの送付方法及び移り変わりについては別紙のとおりで、移管物数は 1 日あたり約 19,100 通、支店課別計画人員の増減については、新東京支店（第一特殊郵便課）時間定数▲4 人、東京国際支店（国際通常郵便課）時間定数△4 人です。

地本は、当該郵便物の成田国際空港支店からの到着時間帯、東京国際支店の期間雇用社員の増雇用時間帯等を確認したところ、支社は、深夜から明方に到着した当該郵便物を、日勤帯の期間雇用社員を増雇用し、航空取扱い地域の翌配対象となる便に結束を行うとし、処理時間 5H を見込んでいると回答。

地本は、東京国際支店の処理スペースの確保とレイアウト及び期間雇用社員の訓練方法等について、職場労使委員会窓口で情報提供を行うよう要請しました。

日 刊 新東京	No. 74	2008年12月18日(木)
	日本郵政グループ労働組合 新東京支部 広報部	
	03-5606-6784	内線 4353

年末年始短期ゆうメイトの 給与支給日について

概要は、年末年始短期ゆうメイトの給与について、1月実績分を2月月例給与で支給することは事務煩瑣となり、雇用期間が終了してから相当期間経過してからの支給となることから、原則として、12月実績と1月実績を合算して支給するというものです。

具体的には、各支店が年末年始短期ゆうメイトの12月期、1月期の勤務実績を合算して1月7日(水)までに勤務時間報告入力を行い、1月23日(金)に給与支給を行うとしています。

また、1月23日給与支給の事務処理が困難な支店については、1月13日(火)までに勤務時間報告入力を行い、1月30日(金)に給与支給を行うとのことです。

なお、支給日を1月23日または1月30日のどちらにするかについては、支店判断で決定後支社へ報告するとし、支店内は同一の支給日となります。

地本は、雇用人数の多い支店において、勤務時間報告入力事務量を勘案し、1月30日に給与支給とすることが困難な場合についての支給方法及び短期ゆうメイトへの周知時期について確認をしたところ、支社は、長期期間雇用社員と同様に単月分を1月、2月の給与支給日に支給するとし、周知については、面接時または支給前までに周知すると回答しました。

さらに地本は、本件は、12月・1月実績を合算して給与支給することにより、計画係等の短期ゆうメイトの給与支給事務が1回となり、事務の軽減に繋がることから良いと判断するが、給与支給日を1月23日、1月30日のどちらかにするかを支店判断で決定する際は、担当する係と協議を行い決定することを求め、支社も了承しました。

また、短期間での事務処理となることで誤支給が発生しないよう、チェック可能な体制とするよう要請しました。

よりよい機関紙を目指して

今年がガソリン国会で幕を開け、米国の住宅バブル（サブプライムローンの焦げ付き）に端を発した世界的な金融危機は、日本の経済にも打撃を与えました。景気後退による学生の就職難、企業の派遣切り等、働く者にとって厳しい時代です。労働組合が真価を発揮しなければいけない時が来たといえます。

去年の10月に国内としては最大の単一労働組合となったJP労組が、6月に第1回の全国大会を開き、組合員の幸せの実現をめざした中期指針を策定しました。この運動を展開し実践するために支部組織の再編があり、新東京支店においては8月29日に新支部をスタートさせることができました。

JP労組は、郵政関係に携わるすべての労働者にとって結集軸でなければなりません。それは、すなわち高次の労使関係を構築し影響力と存在感を示すことであり、組合員が安心して働き続けることができ、働きがいの持てる職場作りを実現することです。そのために、30万人組織の達成は急務といえます。

そして、この30万人の組織拡大行動に必要な不可欠なのが、日々情報を発信している機関紙の存在です。

先月、全通会館において東京地本主催の「IT広報セミナー」が開催されました。東京の支部広報担当者を対象にした、機関紙を作る上で必要な知識を制作実習で学ぶというものです。

支部再編後、機関紙がまだ発刊されていないところもあれば、週刊や隔週刊の支部もあり、支部によって実情は様々です。

そんな中で、新東京支部は日刊としてスタートできたことは、手前みそではありますが、執行部以上に分会役員の尽力によるものと感謝するところです。

しかし、組合員へ向けた情報発信源としては、まだまだ内容的に十分とはいえません。上部機関や支部執行部からの情報伝達だけではなく、職場の声を反映させる、送り手と受け手の相互交流型の機関紙を作らなければならないと思います。

基本はコミュニケーションであり、「つながり」を作らなければなりません。そして、機関紙は労働組合の「目」であり「耳」であり「口」であることを再認識し、この広報活動の先に組織拡大行動に続く成果があると確信しつつ、よりよい機関紙を目指していきたいと思います。

（広報部）

日 ア 新東京 刊	No. 77	2008年12月24日(水)
	日本郵政グループ労働組合 新東京支部広報部	
	TEL 03-5606-6784 内線 4353	

2008年末年始繁忙期間中の手当等

〈郵便事業会社社員の内、郵便交替制で祝日給支給の特例に該当する場合〉

★ 12月23日(火・祝)

		勤務指定	当日の勤務	出勤簿	代休・手当など	備 考
12月	23日 (火) 祝日	(祝)	勤務しない	祝日		
		遅休	勤務した	遅休	代休・超勤手当	
			勤務しない	遅休	代休	遅休日の前日及び翌日ともに、特休、病休、介護休、組休、欠勤の場合は代休日は付与されない
		非番	勤務した	超	祝日給・超勤手当	
			勤務しない	非番	祝日給	遅休日の前日及び翌日ともに、特休、病休、介護休、組休、欠勤の場合は代休日は付与されない
勤務を命じられた場合	勤務した	押印	祝日代休または祝日給 (どちらか選択)	注: 祝日代休を選択した場合、正規の勤務時間を超えた分は超勤手当125/100		

★ 12月29日(月)・30日(火)・31日(水)

12月	29日 (月)	遅休	勤務した	遅休	超勤手当	
			勤務しない	遅休		
	30日 (火)	非番	勤務した	超	超勤手当	
			勤務しない	非番		
	31日 (水)	勤務を命じられた場合	勤務した	押印		注: 正規の勤務時間を超えた分は超勤手当として125/100

★ 1月1日(木・祝)

1月	1日 (木) 祝日	(祝)	勤務しない	祝日		
		遅休	勤務した	遅休	代休・超勤手当	
			勤務しない	遅休	代休	遅休日の前日及び翌日ともに、特休、病休、介護休、組休、欠勤の場合は代休日は付与されない
		非番	勤務した	超	祝日給・超勤手当	
			勤務しない	非番	祝日給	非番日の前日及び翌日ともに、特休、病休、介護休、組休、欠勤の場合は祝日給は支給されない。
		勤務を命じられた場合	勤務した	押印	祝日代休または祝日給 (どちらか選択)	注: 祝日代休を選択した場合、正規の勤務時間を超えた分は超勤手当125/100

※裏面へ続きあり。

★ 1月2日(金)・3日(土)

1月	2日(金)	(特休)	勤務しない	特休		
		遅休	勤務した	慶休	超勤手当	
	勤務しない		遅休			
	3日(土)	非番	勤務した	(超)	超勤手当	
			勤務しない	非番		
	勤務を命じられた場合	勤務した	押印	祝日給	祝日ではないので、祝日代休は選択できない	

○上記の各日における祝日及び(超)・慶休に対する超勤手当は135/100

○上記の各日で勤務した日における、正規の勤務時間を超えて勤務した場合の勤務手当は、注以外について135/100

年末年始勤務手当	
○ 12月29、30、31日…4,000円/日(2,000円/日)	
○ 1月1、2、3日…5,000円/日(2,500円/日)	
期間雇用社員は対象外	
※ 高齢再雇用短時間勤務II型社員及び短時間社員はカッコ内が適用	



ボウリング大会を開催します!

本年9月に、組織統合し、JP労組新東京支部を結成しました。

新支部結成後、初めてのレクリエーションを実施することとなり、今回はボウリング大会を開催します。

年末年始繁忙期を終えてのレクリエーションとなりますので、職場の友達やご家族の方々とぜひご参加ください。

豪華(!?)賞品を多数揃え、執行委員一同、組合員のみなさんのご参加をお待ちしております(^^) /

☆ 開催月日:平成21年 1月25日(日)

☆ 開催場所:東京レジャーランドパレットタウン店 4Fボウリング場

☆ 参加費:大人 1,000円・子供 500円(18歳以下でボウリングに参加する方)

☆ スケジュール: 11:30~ 受付開始

12:00~ ボウリングスタート

13:30~ 表彰式



◎ 参加申込などについては、お近くの支部役員または分会役員までお声かけください

日刊
戸新東京

NO 78

2008年
12月25日(木)

日本郵政グループ
労働組合
新東京支部
広報部

03-5606-6784
内線 4353

二特分会忘年会 支部統合後初の二特分会レク

12月14日(日)PM6時半から、素材屋八重洲店にて2特分会忘年会を開催しました。

当日朝からは、冷たい雨が降っていました。夕方にはすっかりと上がり絶好の忘年会日和となりました。

支部統合後、初めてとなった2特分会の取り組みです。正社員・パートナー社員・OBを含む

む40名をこえる参加がありました。パートナー社員は8名が参加してくれました。

都心での開催のため、迷子(????)もありましたが、木村分会書記長の司会により、定刻通りに始まりました。

星名分会長より「新しい2特分会のスタートです、みなさんよろしく」とあいさつがあり、

大森支部長(！)の乾杯で忘年会スタート!!冷たいビールを流し込みました。

深夜勤の影響で日曜日に設定

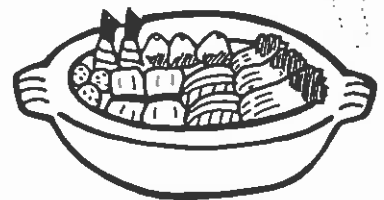
しましたが、A番B番が「公平」に参加することができたのではないのでしょうか。

深夜勤明けという過酷な条件の中、体調も万全ではないが参加してくれる方もいました。

あつという間に、なごやかな声が：うるさく：鍋ものの熱も加わり会場は過熱気味…。

具だくさんの鍋、刺身、カニ：「料理も良くいんじゃない」とドンドンビール瓶が空になつていく。

落ち着いたところで、前田さんと高木さんの進行で大抽選会



スタート!!

手にした抽選番号を見つめ：
「〇〇番」と番号が読み上げられるたび「やった〜」「う〜」と声があがる。3位：2位：は今『話題』の大相撲カレンダー、1位は：？

幸運にも大島さんが1位に当選。おめでと〜!!

抽選で当たる以上に、S級特別昇級のTさんのパフォーマンヌもグットでしたね。ハズレた人もまた来年に期待しましょう。あつという間に閉会の時間です。締めは、やっぱりパイナツプル：ではなく本物の下山支部長のあいさつ。「今日はこれだけ多くの組合員に集まっていただけ感謝します。40超ではまだ少ないですね、もっともっと大きくレクなどをやっていきましよう。また、支部ではパートナ

ー社員の加入が300名をこえました。これから仲間を増やし影響力を高め、一生懸命働く人への社員化の道を切り開いていきたいと考えています」と。最後に団結頑張ろう!!で締めくくってくれました。

2008年2特忘年会は、ケガ人もなく無事終了。

「雰囲気が高かったです。心から楽しませて頂きました。ありがとうございました。感想をいただきました。

たくさんの人のご協力により大変充実した忘年会となりました。

カンパや盛り上げてくれた方々ありがとうございました。

参加したくても、勤務の都合で参加できなかったみなさん、来年ぜひよろしく願います。みなさん、お疲れ様でした。

「新春ボウリング大会」

2009年1月25日

お台場パレットタウン4階「東京レジャーランド」

受付11時半から 12時ボウリングスタート!!

ボウリング後に軽食を食べながら表彰式あり。

みんなで参加しよう(^_^)v

※本日 一次集約です! 役員の方お忘れなく!

日 刊	JP 新東京	No. 79	2008年12月26日(金)
		日本郵政グループ労働組合 新東京支部広報部	
		TEL 03-5606-6784 内線 4353	

今後の年賀葉書販売対策について

東京支社より、今後の平成 21 年用年賀葉書の販売対策について説明がありました。

現在(12月17日現在)の販売推進状況は、推進率 74,8% で前年実績割れが続いている状況です。

何としても郵便事業会社分の昨年実績を確保するために、各支店における年賀販売「期待枚数」を示し販売取組強化を図りたいと説明がありました。

外務販売では、声かけの継続・維持、追加注文の声かけ、郵便物の再配達時の年賀チラシの同時配布を行っていくとし、臨時出張所・タイム販売、切手類販売所、内務販売についても取組を強化していくとのことです。

地本は、支社として販売取組強化策を打ち出し取り組まなければならないことは理解するが、22日からは年賀処理の最繁忙期にはいり、昨年においても最繁忙期は外販活動での販売数が伸びなかったことから、外務社員にこれ以上の負荷をかけることはモチベーションの低下や年賀を中心とした業務に支障をきたすことが予想されるため、外務社員については声かけの維持・継続のみにするよう求めました。

支社は、今年は例年以上の不景気であるが、予約活動や販売活動により市場が成熟し販売が伸びないとは考えていないとし、まだ販売活動の取組の強化可能な支店もあり、臨時出張所やタイム販売等の取組強化だけでは昨年実績販

売数を確保できないため、外務販売においても取り組みを継続強化の協力をお願いし、何とんでも対前年実績以上の販売を確保し、東京としての責任を果たしたいと説明した。

地本は、今年の年賀販売数が伸びない理由は予約活動の段階からあり、年繁の振り返りで評価・反省を行い、来期に活かせるよう支店からのヒヤリングも行うよう求め、また、今回の販売対策においては費用対効果を考慮し取り組むよう要請しました。

「連合・愛のカンパ」について

組合員の皆様からのカンパ金額が支部トータルで101,532円となり、東京地本に無事送金いたしました。ご協力いただきありがとうございます！カンパは、本日26日まで受付しておりますので、ぜひ皆様の愛のこもったカンパを引き続きお願いいたします。

本日の「日刊」JP新東京が本年最終号となります。この1年間ご愛読いただき、ありがとうございました。来年につきましても、組合員の皆様に興味を持って読んでいただけるよう、新鮮な情報を分かりやすくお伝え出来ればと考えております。

まだ年末繁忙期間中ではありますが、皆様が良い新年を迎えられますよう、支部一同祈念しております。

